

「クオリティ・アワード 2019

「ものづくりの達人たち」50人

青文テキスタイル株式会社

(山形県)

常務取締役

鈴木 健太郎 さん

明治 10 年以来米沢産地で培われた伝統の技術力を土台に独自開発した設備装置で時代をリードする開発商品は定評がある。鈴木健太郎さんは織物部・ニット部の企画営業統括責任者として新商品開発に積極的に取り組む傍ら、後進の指導育成や米沢産地組合活動に大きく貢献しており、期待の若手リーダーである。

嵐田絹織株式会社

(山形県)

整経部

鈴木 健一 さん

90 年の歴史ある絹織物専門企業で超高密度織物が有名。世界のラグジュアリーブランドの数々が直接訪れ発注する匠の技術を持つ企業。その中で整経部の鈴木健一さんは最も重要なタテ整経作業で経ムラや筋が観えないようにテンションや綾取りを調整する匠の職人技を持っている。

齋栄織物株式会社

(福島県)

常務取締役

齋藤 栄太 さん

絹織物製造業。8 デニール超極細絹糸使用の世界一薄く軽い絹織物（フェアリー・フェザー）を完成させ欧州著名ブランドに採用されている。開発は齋藤栄太さんをリーダーとして、張力装置の改良、テンション装置の軽量化等の製織技術を確立した。

2012 年第四回ものづくり日本大賞 内閣総理大臣賞 並びにグッドデザイン賞受賞。

小林当織物株式会社

(群馬県)

デザイン部

堤 英児 さん

高級ジャカード織物・ドビー織物を生産する桐生産地のトップ企業。

外注依頼が多い産地の中で自工場でのデザイン・織布を行い、産地内で準備工程・染色・加工を実現。研究熱心な堤英児さんはデザイン部を立ち上げ、ジャガード柄のパイオニアとして業界に大きく貢献し、匠の技術の伝承のため後進を指導育成中。

ダイワインターテック株式会社

(埼玉県)

代表取締役社長

野原 民夫 さん

1893 年創業の先染高密度織物コート地専門トップ企業。世界でも稀な「スレン先染め」技術は色の自由度・深み・力強さを無限に表現させ、なおかつ高堅牢でもある。野原民夫さんは匠の技術を持った職人と共にスレン染め技術と高密度製織技術を継承し、別格なるコート地を生産している。「クオリティ・アワード 2016 グランプリ」受賞。

丸井織物株式会社

(石川県)

取締役兼テキスタイル開発部長

藤田 晃弘 さん

衣料・産業資材用途の合織織物を企画・開発・製造するテキスタイルメーカー。

合織織物で国内トップシェアを誇る。

藤田晃弘さんは合織織物の商品開発におけるテキスタイルの企画、設計及び試作が完成されるまでに必要な織物設計技術、製織技能、品質・物性評価技能に卓越している。また積極的に部下の指導育成を行っている。

津谷織物株式会社

(福井県)

取締役生産部長

山本 雄二 さん

トリアセート使いの婦人服向け複合織物を生産し、その技術力は業界 NO.1 で海外でも有名である。山本雄二さんは入社以来 40 年間、トリアセート繊維の開発に携わり常に開発力を研鑽し続け、世界中の得意先から認められている。津谷社長から「唯一無二の付加価値を継続的に追求した功績はもの作りの達人」と評価されている。

第一織物株式会社

(福井県)

代表取締役社長

吉岡 隆治 さん

世界の一流ブランドが絶賛するメイド・イン・フクイの超高密度織物会社。自社ブランドのポリエステル高密度織物「DICROS」を開発し、米国・欧州に輸出している。

吉岡隆治さんは大阪の繊維会社で活躍したのち 31 歳で 2 代目社長に就任。

「社員が幸せになれる会社づくり」をモットーにしている。

2015 年 第 33 回毎日ファッション大賞特別賞を受賞。

株式会社ソトージェイテック 岐阜本社

(岐阜県)

企画部

有田 陶 さん

ウールの天然繊維から合繊まで、織物・ニットを企画製造販売。(株)ソトグループの染色整理加工と連携した一貫管理の物作りで織機・編み機の両方を兼ね備えたトータルな物作りが特徴。有田陶さんは業界一筋 42 年間織物企画者としてウール素材を中心にメンズ・レディ・ス・フォ・マル分野で活躍。組織分析から展示会構成迄才能を発揮している。

有限会社福田織物

(静岡県)

代表取締役社長

福田 靖 さん

綿中心の織物製造会社。2014 年から現在までミラノ・ニカに出展し、海外有名ブランドに直接販売。綿 120/2 の光透けるストールを開発し話題沸騰。世界初超極細綿糸「300 番手単糸」の生地をストールとして商品化に成功。福田靖さんは社員 10 名（平均年齢 30 歳前半）の若い世代と伝統技術を融合させ、織物職人を育てている。

2018 年地域未来牽引企業認定（経産省）

「クオリティ・アワード 2019」 「ものづくりの達人たち」50人

山栄毛織株式会社
(愛知県)
代表取締役社長
山田 和弘 さん

1915年に創業し、世界初の「ブラックフォーマル」を製織。世界のメゾンをはじめ、国内外で高い評価。手織りの風合いと手触りを目指すため、あえて最低速の設定で製織することでウール本来の膨らみとコシを最大限に活かした生地作りを徹底している。山田和弘さんの今後の目標は、「自社で素材開発をして、国内外に発信していく事」

中伝毛織株式会社
(愛知県)
企画部テキスタイルデザイナー 課長
加藤 芳男 さん

毛織物・化繊織物・ニット服地を製造・販売するテキスタイルメーカーで設備、生産力とも業界トップ。織・編・糸染・染色整理の各工場内に最新鋭の設備を導入し、一貫生産体制を確立。地元出身の加藤芳男さんは当初織物工場現場で機械設備の保全を経験し、その後長年に亘り企画部でテキスタイル開発の中心的役割をなし、会社発展に大きく貢献した。

株式会社ニッケテキスタイル
(愛知県)
ファブリックグループ主席
河野 典晃 さん

原料収集から紡績・製織・整理加工まで120年以上続けているニッケのウール一貫生産を背景に、国内外にファッション衣料等の糸・テキスタイル・製品の企画製造販売を行っているテキスタイルメーカー。河野典晃さんは高級ウールの原毛選定から整理加工まで豊富な知識と経験を活かし、あらゆる素材の企画設計を行う匠の技術を持った職人である。

株式会社播
(兵庫県)
代表取締役社長
藤井 康誠 さん

播州織産地内の同業他社がコスト面から海外生産へシフトする動きがある中で、日本生産に拘り、自社製織工場で短期納期・多品種・少ロットの生産管理を実現。糸加工の技術で多数の実用新案を取得。藤井康誠さんは200年以上続く伝統ある「播州織」の職人技を生かし、社員と共に技術開発に積極的に取り組んでいる。

株式会社ショーワ
(岡山県)
工務部
山本 和夫 さん

国内で数少ないインディゴロープ染色機を有し、染め・織り・加工までを自社工場で行うデニムメーカー。工務部山本和夫さんはロープ染色機・分織機を全て自社技術により開発・製作する責任者として会社に大きく貢献した。第一回ブルミエール・ヴィジョンアワードでショーワのウールデニムが10万点の応募の中から「ハンドル賞」受賞。

カイハラ株式会社
(広島県)
生産本部付主査
高橋 栄利 さん

紡績・染色・織布・整理加工まで一貫生産を担う国内唯一の企業。世界のデニムトップブランドとして認められ、約30カ国に輸出。また国内シェア約50%のNO.1企業。高橋栄利さんは勤続43年、一貫してデニム製造部門に携わり「世界のカイハラデニム」確立に大きく貢献した。2013年経済産業省 第5回ものづくり日本大賞優秀賞受賞、2015年グッドデザイン賞受賞。

米富繊維株式会社
(山形県)
代表取締役社長
大江 健 さん

山形県の老舗ニットメーカー。糸から染色加工・編立・縫製それぞれを担う企業の連携により同地域内で一貫生産している。大江健さんは自らブランドディレクターとしてファクトリーブランド「COOHEM」を立ち上げ、国内外百貨店、セレクトショップに展開。2016年 TOKYO FASHION AWARD、2018年 第7回ものづくり日本大賞特別賞受賞。

佐藤繊維株式会社
(山形県)
編地開発担当
加藤 正 さん

1932年創業の紡績・ニットメーカー。糸から製品まで「日本のオリジナリティー」を大切に、世界に向けて発信。紡績部門はウールや特殊形状意匠糸、植物性天然繊維の開発に注力。自社でファクトリーブランドを販売。加藤正さんは複雑なニット糸と編機の特性を熟知し、海外クリエイターから難易度の高い注文にも対応でき信頼が厚い。

株式会社大河内メリヤス
(福島県)
企画・編立部
秋山 哲夫 さん

世界市場を視野に世界有数の有名ブランドを取扱い、技術力と企画力に高い評価を得ている。企画・編立部秋山哲夫さんは編地の職人として国内のコレクションデザイナーからの評価が高く、また匠の技術の伝承をするため部下を熱心に指導中。2018年「ジャパン・ベストニット・セレクション」準グランプリ。

小野莫大小工業有限公司
(千葉県)
営業部
高橋 幸太郎 さん

特殊丸編み機製造会社としてスタートし開発した「小野式フライス編機」は、今も独自の生地づくりに活かされている。現在はジャージーの開発、販売会社。特許取得の「コズモラマ」や細番強撚糸等は世界の一流ブランドに人気がある。高橋幸太郎さんは新素材開発のチームリーダーとして切りっぱなし縫製が可能なカットソーを開発した。

第一ニットマーケティング株式会社 (新潟県)

中澤 利夫 さん

ニット企画製造販売及び原系販売。企画・デザイン・素材調達・編立・裁断・縫製・加工・仕上げ・検査・物流の全般を自社工場一貫で行っている。日本で唯一ドイツ製の30Gフルファッション機を稼働。中澤利夫さんは社内で「ミスターFF」と呼ばれるほど長年会社の看板商品FF機の設計・生産・保全作業で活躍している。

株式会社タカトニット (新潟県)

代表取締役

高橋 正佳 さん

芸術品と感じさせるほど匠の技術を持つニット師。2件の編立技術の特許権を取得。販売先は国内デザイナーブランド、セレクトショップが中心。高橋正佳さんは「肌に触れると幸せになり生ずると大切に着たくなるニットを造ること」をモットーに、60代後半の今でも「店頭現場を見ることが一番大事」と月2回ほど東京市場に出掛ける。

福井経編興業株式会社 (福井県)

代表取締役社長

高木 義秀 さん

経編のトリコット、Wラッセル機を保有し、極薄地や3D立体生地まで、高機能型商品は海外の評価が高い。今秋ラグビーW杯日本代表「桜のジャージー」に特殊機能が評価され採用。高木義秀さんは「病気で苦しむ人の助けに」とシルク製小口径人工血管や、伸長する心・血管修復パッチの開発に成功し「下町ロケット2ガウディ計画」のモデルとなった。

宮田毛織工業株式会社 (愛知県)

代表取締役社長

宮田 智司 さん

創業以来ジャージーを主に企画・製造・販売。自社工場内にアウター・インナー・スポーツ・産業資材と幅広く可能な生産体制確立。宮田智司さんは「世界にない生地へチャレンジ」を掲げ、2007年からブルミエール・ヴィジョンに継続出展し、世界的有名ブランドを取引実現。2012年ロンドンオリンピック日本選手団公式ジャケット生地提供。

丸和ニット株式会社 (和歌山県)

技術部 次長

岩城 聖 さん

世界で丸和ニットだけしかない「バランサーキュラー」編織の生地は、ほつれにくく軽く布帛の様な仕立映えを欧州メゾンも評価。この編織は欧州製中古編織機を丸和ニットが何年もかけて改造。岩城聖さんは入社以来18年この丸編織機の保全に携わり、諸先輩の努力と苦労で改造した編織機を次の世代に伝えるため、スタッフと共に「もの作りへの探求」を続けている。

株式会社森下メリヤス工場 (和歌山県)

製造部保全 工場長

塩崎 卓 さん

1907年に創業の老舗丸編み生地製造販売会社。

200以上の丸編みニット機を所有しており、洗練された生地職人が、上質な「日本のオリジナリティー」を生産。日本のアパレルから世界のラグジュアリーブランドまで自社企画のオリジナル生地を販売。塩崎卓さんは入社50年以上に亘り、丸編み生地の新素材研究開発に従事し現在も工場長として会社を支えている。

株式会社 川合染工場 (東京都)

専務取締役

川合 章 さん

「東炊き(あずまだき)染め」*は、石灰や植物灰汁を混ぜて煮る染色技術で温度や湿度を調整しながら小窯で丁寧に染色し、天日乾燥する。手間がかかるが、優しい発色と天然繊維本来の膨らみや、自然なふんわりした風合いを得られる。拘った匠の技術を多数の個性派有名ブランドが採用。川合章さんは社長の川合創記さんと共に伝統の職人技を継承中。

株式会社市川染工場 (新潟県)

代表取締役社長

市川 正人 さん

1904年創業。100年以上続く伝統の技術と近代設備で五泉のニット産地を支えてきたチーズ染色を主体とした染工場。環境に優しい加工技術とファッション性の高い染色技術で、染色業界のキーインダストリーと呼ばれる存在。市川正人さんは「ニット分野以外でも時代のニーズに合った機能性加工を開発し、持続可能性を追求したい」と言う。

小松マテーレ株式会社 (石川県)

特別顧問

高木 泰治 さん

海外トップブランドのファッション・スポーツ衣料分野から、医療関連・生活関連・資材関連・炭素繊維複合材料などの先端材料関連分野まで事業展開。長年技術開発生産の陣頭指揮をした高木泰治さんは「機械開発の経験とケミカルの知識、またそれらの組合せによるアイデアやアプローチなどの現場力を若手に伝授したい」と抱負を語る。

テックワン株式会社 (石川県)

代表取締役社長

竹田 忠彦 さん

1965年設立。合織織物の染色・プリント・機能加工・透湿防水・ボンディング加工が主な加工内容。難度の高い超軽量薄地織物のプリントと透湿防水加工は世界から評価が高い。竹田忠彦さんは「会社を支えるのは人で、ある」を基本に、人材育成と社員の結束を優先。テックワンは「小さな大企業」を合言葉に「技術力世界一」を目標にしている。

「クオリティー・アワード 2019」 「ものづくりの達人たち」50人

本多染色工業株式会社
(長野県)
代表取締役社長
本多 孝史 さん

カセ糸の染色加工日本一の工場。提携するイタリアヤーンメーカーのニット糸の販売も行。ウールの抗ピリング・ウォッシュャブル加工やカシミアの超撥水・防汚・ウォッシュャブル・杭ピリングの多機能加工他多くの独自加工を持つ。本多孝史さんは兄純一さんと「自社単独でなく、産学官と共同開発を積極的に進めたい」と意欲を燃やす。

鈴木晒整理株式会社
(静岡県)
取締役工場長
川合 孝良 さん

衣料用天然繊維の染色整理加工工場。会社のモットーは「ユニークな加工技術、世界に一つしかない加工」を多く出すこと。従業員の約半数が20～30代だがベテランの技術を継承し、「匠による味のある加工」を追求。川合孝良さんは勤続34年で、機械・生地を熟知し、生地に合わせて機械のロール1本1本をも改造して最高の風合いを作り出す匠の職人である。

東洋紡糸工業株式会社
(大阪府)
取締役開発部長
鳥越 昌三 さん

東洋紡糸は1879年創立。純国産カシミア糸は、歴史と伝統を今日まで職人の手で守り続けながら、世界に誇るラグジュアリーブランドが採用。カシミア・キャメルヘア工業会(CCFI)の発起企業。鳥越昌三さんは2015年繊維が生まれたばかりの状態を維持再現する紡績法として「E-FILU 技術」*を発表し、カシミア原毛やシルクの改良を手がけている。

豊和株式会社
(岡山県)
生産1課
小谷 和弘 さん

ジーンズ及び繊維製品全般の染色・洗い加工業。
1978年に開発した「ストーンウォッシュ」は日本に爆発的なジーンズブームを起こした。ヨーロッパで始まったケミカルウォッシュを1986年に日本で発表。
小谷和弘さんは入社以来一貫して染色加工業務に従事し、染色加工の屋台骨を背負い、新規の加工技術を開発している。

山陽染工株式会社
(広島県)
染色課 課長
濱添 孝輔 さん

原反から晒・無地染め・プリント・仕上げ加工まで一貫で行える国内有数の染工場。特殊加工は世界のハイブランドから高い評価を得ている。世界的な認証のアチーブメントアワード取得。濱添孝輔さんはチームメンバーと並たならぬ努力を重ね、世界で唯一量産可能な「段落ち染技術」を伝統の備後緋と革新的な技法で開発した。

株式会社サンライン
(青森県)
代表取締役
佐藤 克豊 さん

紳士服重衣料の縫製工場。英国著名ブランドから技術力が評価されメイドインジャパンで輸出展開。海外展開の国内著名ブランドも生産しており、社内の自信と誇りになっている。佐藤克豊さんは創業前倒産した工場の現場責任者だったが、工場の間際と取引先から強い要望がありサンラインを立ち上げた。青森県アパレル工業会の会長を長年務めるほど人望があり、仕事への情熱が厚い。

株式会社ワークス
(青森県)
縫製
三上 真理子 さん

紳士服重衣料の縫製工場。国内トップクラスのパターン・縫製技術でハイクオリティー商品を実現している。取引先各社のブランドが持つイメージを理解し、着心地の良い上質な製品を提供している。
三上真理子さんは勤続38年間縫製現場を担当し、精緻で丁寧な仕事で村島社長も認める「ワークスの匠」と言われている。

株式会社サンヨーソーイング
(青森県)
製造部 次長
大浦 広子 さん

世界的に高い技術力が認められているコート専門工場。
製造部大浦広子さんは勤続35年縫製部門に携わっており、現職は製造部次長として縫製技術はもちろんライン管理、人材管理に於いてもNO.1の実力を備え、管理指導も高い評価を得ている。
「クオリティーアワード2016 グランプリ」受賞。2019年IACDE ミツ星認定工場。

株式会社東和プラム
(岩手県)
取締役製造部長兼工場長
土方 直樹 さん

日本屈指のメンズ縫製工場。イタリアスーツのクラシカル派の巨匠ドメニコ・カラチェニ氏のテーラー技術と理論を日本で初めてマスターした工場として知られる。土方直樹さんは紳士服を手掛けて30年になり、2018年MFU技能マイスター認証を取得。菅谷社長から「後輩と従業員に対し技術の伝承と育成をしており会社の要」と評価されている。

岩手モリヤ株式会社
(岩手県)
生産技術アドバイザー
下館 るり子 さん

婦人高級既製服を製造。生産技術アドバイザーの下館るり子さんは縫製作業に45年間従事。専門技術と技能を有し、女性の身体に沿う立体感や美しく着易い服作りのために「くせとり」の技術工程を量産に取り入れ、高付加価値で独自の「拘りの服作り」を構築した。高度な縫製技術教育により全社員の3分の1が国家検定「洋裁技能士」資格を取得。

「クオリティー・アワード 2019

「ものづくりの達人たち」50人

株式会社四ツ葉ドレス ラフィネ工場 (山形県)

担当長

田中井 伸 さん

婦人服高級フォーマルウェアの縫製工場。フォーマル特有の「くせとり技術」は熟練工の手で縫製されている。ラフィネ工場の田中井伸さんは38年間、縫製現場で活躍してきた。彼女の作るサンプルはもちろん彼女が指導した量産品の拘りの「ふんわりした雰囲気」は他の追随を許さず、取引先の大きな評価を得ている。まさしく縫製技術の達人である。

バーズファクトリー (東京都)

代表取締役社長

松浦 永 さん

自社内に丸編み機を持った高級紳士婦人縫製工場。高い技術力が評価され欧米著名ブランドに輸出。全く縫い代の無い縫製(TPSミシン)を駆使した商品はしなやかな着心地を実現している。松浦永さんは高級アパレルのOEM受注以外に自前のファクトリーブランド「BASIETA」で数々の海外展示会に出展し事業の拡大を図っている。

株式会社タカラ (香川県)

工房ガルボ チーフ

片山 純子 さん

パリオレブランド、国内を代表する高級婦人服製造等。片山純子さんは勤続約40年の経験を生かし、現在は拘りのあるパーソナルな要望に応える工房ガルボのチーフとして活躍中。縫製ラインで経験を積み、ミラノのモデリスト養成校に留学し取得したパターン技能を社内の後進育成に生かしている。岡山工場の運営全般に渡り指導も兼任し会社に大きく貢献している。

株式会社ラ・モード (熊本県)

工場長

内野 美智江 さん

パリオレクションをはじめ、世界に通用する高品質な婦人服を作り続けている。創業当時より一貫して社有の教育制度を活用し、社会有為の人材を育成する産学一体の経営方針を持つ。工場長の内野美智江さんは入社以来50年製造に携わりラ・モードを支えてきた。新たに若手クリエイターと海外に発信する服作りに積極的に取り組んでいる。

株式会社ダーバン宮崎ソーイング (宮崎県)

技術部第二課 班長

酒元 祐太 さん

レナウンダーバンの重衣料自社工場として約50年に亘り高い品質と技術を担保してきた。2008年より優れた技能を持つスタッフの育成及び技術の継承をするため、マイスター制度を導入。酒元祐太さんは上衣、下衣、仕上げの3部門のマイスターを取得し常に自己研鑽を積んでいる。従業員からの人望が厚く、期待の若手リーダーである。

西川レベックス株式会社 (栃木県)

羽毛清浄工場 課長

海老 原信夫 さん

高級羽毛ふとんの洗淨工場。原毛貰い付・羽毛の精製・独自のフレッシュアップ加工・羽毛ふとん仕上げまで全ての工程を社内で完結する一貫工場。海老原信夫さんは品質管理室に長く在籍し、精毛の「匠」として西川の厳しい羽毛基準を築き上げた。「西川ダウン」®は、お客様へ最高級のダウンをお届けするために妥協しない海老原さんによって守られている。

近江真綿工房 (滋賀県)

原田 泰三 さん

近江産地の手引き高級真綿製作工房。上質の国産繭を100%使い、1枚1枚手引いて真綿布団を制作。作業は2人一組でやっと1年間に100枚しか出来ない全て手作業の手間のかかる仕事。繭は無農薬で育った最高級の天然繭を100%使用。真綿職人の原田泰三さんは地域の人々と頑なに伝統を守り続け最高級の真綿布団を作り続けている。

株式会社レナウンインクス (福島県)

生産管理グループ チームマネージャー

吉田 豊之 さん

国内有数の紳士靴下製造の一貫工場。世界的にも稀な240Nハイゲージの編機や15種類を超える新旧の編機種を保有し、ビジネスソックスを中心に編立の難しい天然繊維100%糸のものを得意とする。吉田豊之さんは30年以上に亘り靴下製造技術習得に努め、若手への技術継承に熱心に取り組み2014年「経済産業省製造産業局長賞」を受賞した。

グンゼ株式会社 アパレルカンパニー (大阪府)

レッグウェア事業本部

馬場 敦志 さん

紳士肌着及び婦人ストッキング・タイツを主とする繊維製品メーカー。伝統の中で培った編・染・縫の技術で高度な繊維機能付与、快適性評価、装置開発を自社調達している。レッグウェア事業本部の馬場敦志さんはパンティストッキング・タイツの製造技術開発の長年リーダーとして従事し、業界発展に大きく貢献した。

株式会社 マキシ (兵庫県)

ハットデザイナー兼モードアドバイザー

大平 千鶴子 さん

婦人帽子製造販売メーカー。熟練した帽子職人と洗練のモディストが皇室、五輪日本選手団、万博、鉄道や航空の交通機関を始め我が国を代表する制帽製作を数多く手掛けてきた。大平千鶴子さんはモディストとして第18回ハットコンテスト(仏・セフォン)で総合第1位受賞や2018年神戸マイスター認定等国内外で高く評価されている。